

【実施主体】インフロニア・前田建設・前田道路共同提案体

データに基づく実態的広域化の検討（導入検討先自治体：熊本県熊本市、広島県三原市）

①調査概要

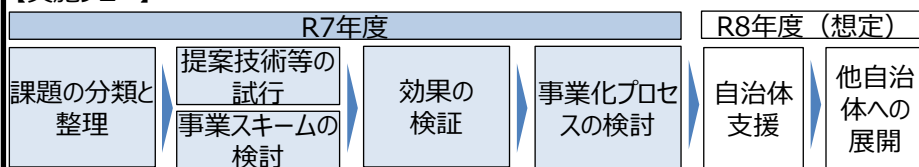
本調査では、老朽化の進むインフラを支える自治体の職員不足や、インフラの効率的・効果的な更新といった自治体の課題の解決のため、道路分野において、導入検討先自治体が複数自治体の技術的知見・ノウハウを享受する仕組みの構築を目指す。具体的には、①新技術による業務高度化・効率化とLCC削減の総合的なサービスの導入を試行したうえで、②複数自治体のナレッジを統合ナレッジプラットフォーム上で共有する取組みを試行する。これにより、民間事業者によるデータ管理・活用等を通じた実態的広域化を実現する事業スキームを構築し、更なる業務効率化や事業効果の最大化を目指す。

②実施方針・フロー

【実施方針】

本業務は老朽化の進むインフラを支える自治体の職員不足や、インフラの効率的・効果的な更新といった自治体の課題の解決を目指すものであり、かかる課題解決のためには、自治体間の連携による業務の効率化・補完に資する広域型PPP/PFIの形成の促進が有効であると理解している。本業務の実施にあたっては、実態的広域化の効果が最大限発現するよう、複数の自治体の課題・ニーズを十分に理解して、国・自治体と密に連携しながら実施する。また、広く他の自治体へ展開することを目指し、事業モデルに汎用性を持たせるよう留意する。

【実施フロー】



③自治体概要

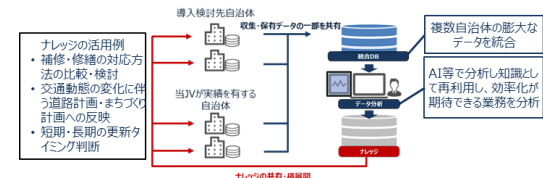
熊本県熊本市		広島県三原市	
人口	73.8万人	人口	8.7万人
面積	390.3km ²	面積	471km ²
道路延長	3,800km	道路延長	1,290km
課題	DXを活用した維持管理の効率化、維持管理予算の効率化、計画的な維持管理、道路附属物等の維持管理の効率化、職員の不足	課題	土木技術職員の不足（市職員、市内の建設事業者）、日常維持管理の高度化・効率化
検討状況	DX等の活用による計画的かつより効率的な維持管理等の手法を検討している	検討状況	多分野連携による施設点検の高度化・効率化を検討している

④スキームの概要

【スキーム概要】

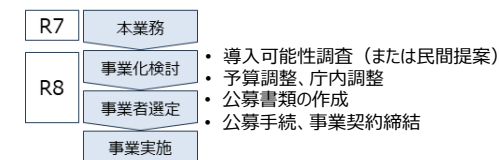
包括的民間委託契約又はPFI法に基づくPFI事業を通じて、民間事業者が地域企業や専門事業者と連携してDX・新技術を活用することで維持管理業務の効率化・高度化を図るとともに、中長期修繕計画の策定等によりLCC削減を目指す。

また、複数自治体のナレッジ（知見・ノウハウ）の共有を受けることで、実態的広域化を図り、さらなる業務効率化や事業効果の最大化を目指す。



【検討ステップ】

本業務、事業化検討、事業者選定、事業実施の流れを想定する。自治体の意向も踏まえて、段階的な導入のアプローチも検討する。



【期待される効果】

自治体	地域企業	地域住民	民間事業者
業務効率化による維持管理費・行政コスト・職員の負担の減少、計画的な維持管理の実現、予防保全の促進によるLCC削減	業務効率化による生産性の向上、技術力の向上・企業競争力の増加、長期にわたる安定的な業務量の確保による経営安定化	質の高いサービスの享受、安全で安心なインフラの利用、災害時等に迅速に対応できる地域企業の確保、雇用維持	新しいビジネス機会の獲得、新技術・機械・人員等への投資促進